

運営方針

副理事長 下津浦 朱門
(総務渉外委員会)
(広報国際委員会)

我々は、長きにわたりこのまちの多くの問題と向き合い、市民の先導役として歴史と伝統を大切にしながら、明るい豊かなまちにするため運動を展開してきました。今後も未来に向けて率先して行動していくためには、我々一人ひとりが高い志を持ち、積極的に挑戦をしなければなりません。

そのためには、地域から必要とされる存在となるべく、会員が青年会議所の本質を理解し、組織として活発に活動できるよう会員の個性を活かし、永続的に運動を展開できるよう取り組みます。まずは、LOM運営を下支えするということを忘れることなく、謙虚な姿勢を忘れずLOMの活動の円滑化を促進しこれまで以上に強固な組織となるよう努めます。そして、「来たい住みたい日本一SASEBO」の実現にむけてグローバル化が進む今、あらゆる情報を効果的に発信し、広い視野をもってこのまちの将来を担える人材を育成する機会を創り出すよう運営してまいります。

最後に、副理事長職を預かるにあたり、職責を全うし理事長とLOMを支えることは勿論のこと、私自身が多くの機会に積極的に飛び込み、会員を巻き込んでまいります。これまで活動してこられた先輩方と、共に活動してきた会員に感謝の気持ちを忘れず、率先して行動することを改めて誓い副理事長の運営方針とさせていただきます。

運営方針

副理事長 山縣 昌彦
(郷土愛醸成委員会)
(ダイバーシティ推進委員会)

近年、我々を取り巻く環境は目まぐるしく変化し、抱える問題は複雑化しています。我々が住み暮らす佐世保においても少子高齢化やグローバル化など、様々な問題が山積みしているため、多様な人材が活躍することのできる社会づくりが求められています。我々は、まちのリーダーとして、何事にも先見性を持ち、若者らしい明るく活力を持って地域に求められる活動、運動を展開していかなければなりません。

そのために、市民一人ひとりの故郷に対する意識を変革し、郷土愛をもった市民を増やすことで地域に活気と元気を与える機会を創出します。そして、あらゆる協力者と情報の共有を密に行い、さらなる信頼関係を醸成し、強固なパートナーシップを構築します。また、様々な人材が活躍して継続的に成長ができる社会にしていくために、多様な個性を受け入れ活かしていける必要性をひろめていきます。

最後に、理事長をしっかりと支えることはもちろん、これまでの既成概念にとらわれないう柔軟な思考で、困難や失敗を恐れず勇気を持って、日本一元気で力強い佐世保青年会議所を目指すために自ら積極的に行動してまいります。

運営方針

副理事長 福本 一仁
(拡大委員会)
(会員研修委員会)

我々は、明るい豊かな社会の実現のために様々な活動や運動を行いながら、このまちを牽引するリーダーを輩出してきました。これからも志を同じくする多くの仲間がお互いを研鑽しながら活動を行うとともに、このまちの未来に向かって困難に対しても活力をもって立ち向かう人材で溢れる力強い組織であるために、会員一人ひとりがさらなる成長を遂げなければなりません。

まずは、副理事長として理事長の想いを両委員長にしっかりと伝えることや、より良い事業構築ができるように、何度も議論を行い、コミュニケーションを取りながら指導してまいります。そして、志を同じくする多くの仲間を増やすために、拡大計画をしっかりと構築して、組織一丸となってそれぞれが魅力を伝えながら目標達成に向けて一つひとつ結果から目を背けることなく諦めずに拡大活動を行います。さらに、会員が主体的に行動を起こすことのできる魅力溢れる人材を目指すこと、また同じ志を目指して活発な行動力をもった新しい仲間を迎え入れて、会員全員がさらに力強く一歩前進して成長することで、このまちの発展を目指す盤石な組織を構築します。

最後に、副理事長としての責任と自覚をもって理事長を補佐することは勿論、両委員長がより前向きにリーダーとして成長できるように導いてまいります。また、明るさと活力をもった佐世保青年会議所であるために精一杯、活動しますのでご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

運営方針

副理事長 角 孟
(親睦委員会)
(青少年育成委員会)

我々は、明るい豊かな社会の実現のために、諸先輩方が紡いできた歴史や伝統を受け継ぎながら活動や運動を展開してまいりました。これからも、会員一人ひとりが時代の変化を的確に捉える力を養いながら、組織としてしっかりと足元を固めていき、力強く成長をして行かなければなりません。

まずは、会員一人ひとりが当事者意識を持ち、相手の立場になって物事を捉えられる人材に導いてまいります。また、活動をする上では、スタッフ間の関係性或委員会運営が非常に重要だと考えます。机上論だけでなく、積極的に議論を交わし活発に活動することで、生まれてくる信頼関係を大切にしながら、成長の幅を広げられるように導きます。そして、両委員会が事業を成功させることだけが目的にならないように、事業構築していく過程を大事にしなが、成功や失敗も糧にしてLOMに活力を波及できるように共に成長していきます。

最後に、副理事長としての責務を全うし、理事長を補佐していきながら、私自身が率先して明るく活力をもって活動に邁進し続けることで、組織の原動力となれるよう努めてまいります。